

## 京都府医師会・連携メールリングリスト運用ガイドライン

メールリングリスト(以下 ML)は、一回発信することでこれに登録されたすべての医療機関等にゆきわたるメールサービスで、京都府医師会・情報・企画・広報委員会ならびに地域ケア委員会が実際の運用を担当します。多数の医療機関が同時性、即時性、双方向性をもって伝達できる手段です。診療所と病院において医療機関同士の情報交換を主体として運用を開始します。またこのMLでは府医会員の有無にかかわらず府内の病院勤務医の先生方の登録もお願いしております。

### 【登録者の範囲】

府医会員の希望者。

府内の病院の医療機関診療連携室 等。

府内の病院勤務医の希望者。

京都府医師会、地区医師会。

### 【投稿内容について】

- ①セキュリティには配慮していますが、外部からの覗き見等を完全にブロックすることは不可能です。よって患者さんが特定されるような投稿内容は避けていただくようお願いします。
- ②本 ML での投稿内容を投稿者の承諾なく医療機関外に持ち出すことはご遠慮ください。
- ③在宅患者さんの主治医探しに関する案件に関しては京都府医師会・在宅医療サポートセンターがこれを直接担当しますので本 ML ではなく、府医在宅医療サポートセンターに直接お申込ください。なお在宅医療サポートセンターで調整のうえ、本サポートセンターからこの ML を通じて主治医依頼を募集する場合があります。

### 【メールの発信】

発信したい場合はメールソフトを開け、「件名」にメールの内容が充分把握できるような簡潔で適切なタイトルをお付けいただき、メール本文を書いたあとに「宛先」を指定の府医・連携 ML のアドレスにして「送信」をクリックしてください。

### 【メールの返信】

投稿されたメールに対して返信したい場合は、そのメールにある「返信ボタン」をクリックすると返信メールが用意されます。文章作成後に「送信ボタン」をクリックすると、これもすべての登録者に向かって発信されます。この場合、「宛先」や「件名」は自動で記入されます。「件名」の内容を変更したい場合はその部分を修正してください。

### 【所属・記名投稿】

本文に**必ず所属と氏名をご記入**ください。

### 【メール形式】

メール作成形式はリッチテキスト(HTML 形式)とテキスト形式があります。前者はメール文字の色変更等の操作ができますが、後者の**テキスト形式の方がウイルス感染の可能性がないという安全性やメール自体の容量が軽いこと、どのメールソフトでも確実に読める等の利点**があり、メール社会の一般通念としてはこれが推奨されています。従って本 ML では**テキスト形式のメールしか受け付けない設定**となっています。

(参考)

メールでのウイルス感染は添付ファイルを介するものがほとんどですが、中にはメールの HTML 形式の中に仕込まれるスクリプトというプログラムを介する種類のものがあります。

### 【メールのテキスト形式への変更方法】

◇ Outlook Express

Outlook Express を起動し「メールの作成」をクリック。

メッセージの作成ウィンドウが開きます。

この中で上部の「書式」をクリック。

「テキスト形式」になっておればそれで問題ありません。

もし「リッチ テキスト(HTML)」になっておれば「テキスト形式」をクリックして変更してください。

◇ Mac OS

「Mail」の「環境設定」を開く。

「作成アイコン」を選び、「フォーマット」を「標準テキスト」に設定。

### 【添付ファイルについて】

本 ML では**安全のため添付ファイルは受け付けない設定**になっています。

### 【サーバのウイルスプロテクション・会員の抗ウイルスソフトやプロバイダのウイルスチェックサービス】

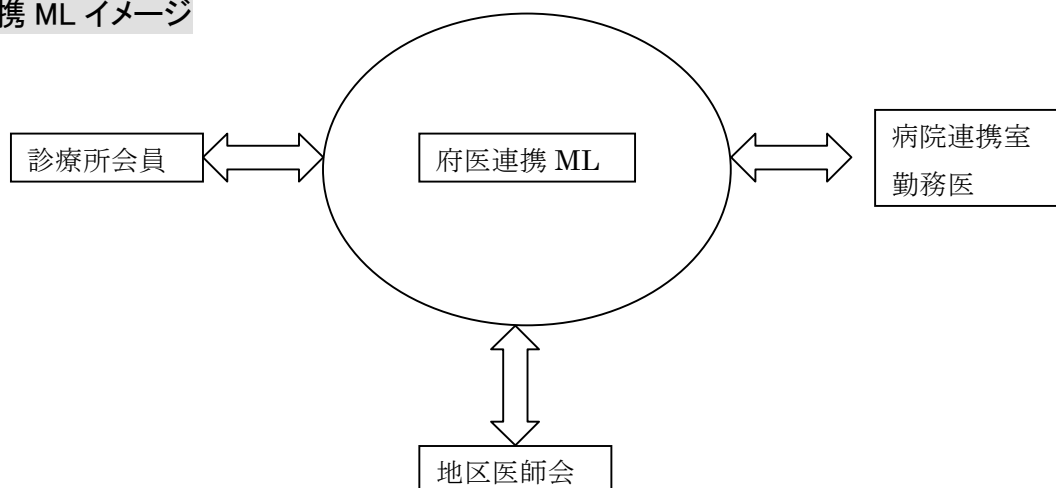
本 ML のサーバはウイルスプロテクションが設定されており、会員同報通知されるメールはウイルスチェックがかかります。ただ自らの安全のため、また知らぬ間に会員へウイルス配布をしてしまわないためにもご自分で使用されるパソコンに必ず抗ウイルスソフトをインストールされ日々の更新(最近のものは自動的に連日更新されます)をお願いします。ご使用されている回線プロバイダ側で前もってメールのウイルスチェッ

クをしてくれるサービスもありますのでこのご利用でも結構です。

### 【本 ML 外での医療機関の情報連携について】

月 1 回程度の予定で、この ML に登録された病院リストを地域別に掲載予定しています。そのため、各病院の医療機関診療連携室等との個別の情報交換につきましては、ここに掲載された病院メールアドレス・担当者に対して一般の電子メール、電話、FAX、書類等をご利用いただくようお願いいたします。なお、インターネットや電子メールの第三者からの覗き見はその可能性を否定できません。従いまして患者さんが特定されるような情報についてのインターネット、電子メールでの使用はお控えいただき、患者特定個人情報の交換には従来の書類での交換をお願いいたします。

#### 連携 ML イメージ



#### 個別案件

会員 ↔ 病院・会員等

電話、FAX、書類、メール等の利用

#### 患者特定情報

会員 ↔ 病院・会員等

電話、FAX、書類の利用

#### 主治医探し

会員、病院 → 府医在宅医療サポートセンター  
電話、FAX、書類の利用

平成 20 年 7 月 24 日

京都府医師会 理事会